美瑛高校だより

2020　年　8　月　24　日
北海道美瑛高等学校

目標達成に向けて前に踏み出す。そして自らを磨こう

校長　升　田　重　樹

夏季休業が終了し、８月２１日（金）から学校が再開されました。３年生においては夏季休業を短縮し、当初の予定から１週間登校日を延長して主に進路学習に取り組みました。この１週間の３年生の姿を観ると様々です。多くの生徒は時間を無駄にせず真剣に取り組んでいましたが、反面、休業日が短縮されたことから面倒そうな感じで集中できていない様な心配な人も見受けられました。いずれにせよ進路決定は目前に控えています。今やらなければいつやるという言葉がありますが、３年生にとっては正念場です。努力は決して無にはなりません。最後まで意欲ある姿勢で臨んでもらいたいものです。

さて、夏季休業中に日頃から本校生徒たちにご指導いただいている大学教授の先生からお話を伺う機会がありました。教授は札幌市の高校を中心に北海道内のあらゆる高校で指導にあたっていますが、本校の多くの生徒の文章表現力等を含めた潜在能力は札幌市の中堅学力校の生徒と比較してもなんら遜色はないとおっしゃっておりました。教授からこのようなお言葉をいただき、うれしく思うと同時に、いかにこの能力を開花させ将来に導くことが大切かということを考えました。昨今、社会人基礎力という言葉をよく耳にします。社会人基礎力の３つの能力、①考え抜く力（課題発見力、計画力、想像力）②チームで働く力（発信力、傾聴力、柔軟性、規律性 等）③前に踏み出す力（主体性、働きかけ力、実行力）はライフステージの各段階で活躍するために求められる力だと言われています。

どれも高校生活において身に付けなければならない力ですが、自らの眠っている潜在能力を開花させるということを考えるのであれば、今の１・２年生においては「前に踏み出す力」が一番大切なのではないでしょうか。

磨けば光る。皆さんの先輩たちには３年間で自分を磨き、高い進路目標を見事に達成した方々がたくさんいます。学習というのは日々の授業だけではありません。あらゆることにチャレンジして自らを磨きましょう。そして進路目標の達成に向けて卒業まで努力を継続するということが一番大事ですね。先生たちも全力でサポートします。互いに頑張りましょう。

夏季休業中の様々な取組

夏休み中について、様々な活動が行われましたのでそれぞれのスペースを用いて記載します。まず、学習ですが、「難関」と言われるような進路の実現を目指した「進学講習」が実施されました。進路実現に向けて参加生徒たちは懸命に取り組んでいました。

そして、キャリア教育に注力している本校ならではの「キャリア講習」を実施しました。よりよく人生を過ごすための「学び」という観点で「大学・学部研究」と題し、札幌大谷大学の平岡先生を招聘し、講義をしていただきました。

また、平岡先生には、生徒だけではなく、新しい学習指導要領（全国の教員が各教科等を指導するためのマニュアル）をより深く理解するための一助として、教職員向けの研修の講師もしていただきました。短い時間ではありましたが、我々教員にとっても大変貴重な学習の場となりました。

また、部活動についてもバレーやバドミントン、弓道等の運動部、軽音楽等の文化部も積極的な活動がみられました。特に美術部やバスケットボール部については大会への参加が目前に控えており、部員全員が一生懸命汗していました。

夏季休業明け、素晴らしい成果が出ることを期待しています！

「努力」って・・・？

「努力して結果が出ると、自信になる。努力せず結果が出ると、傲り（おごり）になる。努力せず結果も出ないと、後悔が残る。努力して結果が出ないとしても、経験が残る。」

この言葉は、私（教頭）の後輩教員が座右の銘にしている言葉だそうで、言い得て妙だなと思っている言葉です。我々はとかく「頑張れ」とか「努力しなきゃ」とか使っていますが、そもそもこの「努力」という言葉自体が非常に深くて難しい言葉だなと本当に思います。

例えば自分なりに「頑張って」いる時に「もっと頑張んなさい」と言われるとひどく気分を害しますし、それほど自分では頑張っているつもりがなくても「頑張っているね」と褒められて戸惑ったりすることもあります。つまり、「頑張る」尺度とは実は自分の中にしかなく、他人から見えてる「頑張り」の度合いはあくまでも相対的なものなのです。だから、他人から「頑張らなきゃ」とか「努力が足らない」と言われることについては、「自分で手を抜いてる」場合は真摯に受け止めて反省すべきですが、自分なりに「すごく頑張ってる」状態であっても言われることもあるので、そういう場合は腹を立てるのではなく少し立ち止まって考えてみてほしいってことなのです。

なぜこんな話を書くかというと、３年生については進路実現がまさにそうですし、１・２年生についてもこれからの高校生活について、こういうことが多々出てきます。「こんなに頑張っているのに」結果が出なかったり、周りは分かってくれなかったりすることも残念ながらあります。

しかし、**努力について大事なことは「手段と方向性」だと私は考えます。** 言い換えればどんなに「頑張って」いても、「やり方（手段）」がまずければ結果は出ないでしょうし、「何のために頑張るのか、どういう結末を求めているのか（方向性）」が正しくなければ、自分が思い描いたゴールにたどり着くことは難しいということなのです。たとえるなら、「アメリカに行きたい」と思ったときに、日本からでは徒歩では行けません。飛行機や船等の「有効な手段」を用いなければ実現できませんし、いくら飛行機に乗っても「方向」が間違っていたらたどり着けなかったり、ひどく遠回りするかもしれません。

じゃあ「頑張っても意味ない」と考える人がいるかもしれませんが、最初に書いたように「自分なりに頑張ったこと」は経験としてちゃんと残ります。この経験は非常に大きく、次回同じような困難が立ちはだかった時に必ず役立つでしょう。また、この**経験こそが「人としての強さ」に繋がる**ものだと断言します。とはいえ、結果が出ない中で頑張り続けるのはなかなか辛いですよね。だから先ほど書いたように結果が伴わないときは、「立ち止まって考えてみて」ほしいのです。**「手段」と「方向性」が正しいか**を。

最後になりますが、日本が誇る世界のホームラン王、王貞治氏はこんな言葉を残しています。**「努力は必ず報われる。もし報われない努力があるのならば、それはまだ努力と呼べない。」**

皆さんの努力が報われることを期待しています。

保護者各位

いつもよりも短かった夏季休業でしたが、保護者の皆様のご指導ご協力もあり、大きなトラブルもなかったかと存じます。夏休みが明けますと台風の時期が参ります。昔は北海道に直撃することはほとんどなかったように記憶してますが、最近は大雨や強風が来ることも珍しくありません。以前よりご連絡しておりますが、天候不良等災害で臨時休校や遅延になる場合は学校ホームページへの掲示及び一斉送信メールにてお知らせします。

また、長期休業明けはお子さんの心身のバランスが崩れやすいことが文部科学省等の統計から指摘されています。もしかしたら生活リズムが崩れてしまったお子さんもおられるかもしれませんが、規則正しい生活リズム（具体的には①食事・休養・睡眠をしっかりとる②早寝早起きを心がける③感動したり笑ったり等、「心の健康」を心がけるなど）を取り戻すようご家庭でのご指導をお願い申し上げます。さらに、新型コロナウイルス感染症についても未だ終わりが見えておりません。長期戦となって我々自身も気が滅入ってくるところかと推察いたしますが、苦しい時期だからこそ、感染防止の徹底（手洗い等の徹底、マスクの適時・的確な着用、三密防止等）をお願い申し上げます。